

栗原地区：栗原市立栗駒中学校区の取組

【推進校】

栗原市立栗駒小学校 栗原市立栗駒南小学校 栗原市立鶯沢小学校
栗原市立栗駒中学校 宮城県岩ヶ崎高等学校

【目標】 テーマ「願いを持ち（もとめる）励まし合い（かかわる）可能性の追求へ（はたす）」

小・中・高等学校における学びの連続性を重視するとともに、理想を求めて目標を設定し、その実現のために努力を積み重ねることで、自立した社会人としてのスキルや規範を身に付け、よりよい社会を創っていかうとする意欲や態度を育む。

小学校テーマ 「人とつながる力を身に付ける」

中学校テーマ 「将来を設計する力を身に付ける」

高等学校テーマ 「社会に参画する力を身に付ける」

【取組の概要】

- 1 栗駒中学校区の志教育全体構想図、「栗駒の12年間教育」で身に付けさせたい力の関連表、日々の活動で目指す「願いを持ち励まし合い可能性を追求する」姿の関連表の作成
- 2 地域との連携や「伝統文化・人・環境」との関連を明確にした年間指導計画の整備
- 3 志教育の実践例



栗駒小 [イワナの秘密を探る]



栗駒南小 [田んぼの学校]



鶯沢小 [白鷺太鼓]



栗駒中 [栗駒ドリームカンパニー]

各校においては、志教育の視点、活動の流れ、夢を育み志に高める手立て等を明確にして志教育を実践し、それを記録にまとめた。



岩ヶ崎高 [栗っ子ティーチャー]

- 4 児童生徒交流発表会の実施（大人125名，児童生徒197名，計322名参加）

平成29年12月21日（水）午後1時～午後3時30分

第一部 概要説明，講演会「ふるさと栗原を学ぶジオパーク学習の取組について」

第二部 児童生徒交流発表会，感想・決意発表

【成果】

- 児童生徒は、一緒に活動したり、活動の様子を間近で見たりしたことで、地域のよいところを知り、郷土に誇りを持ち、大切にできる気持ちを育むことができた。児童生徒からは、「栗駒がより好きになった。」「自分も地域のよさを伝えたい。」という言葉が聞かれるようになった。
- お世話になった方々への感謝の気持ちを膨らませ、人とのつながりの大切さに気づき、地域のために活動することの大切さ（価値）を実感することができた。
- 「栗駒の12年間教育」の実践を通し、地域を愛し、自らの手で未来を切り拓く意欲に富んだたくましい、地域の担い手育成のスタートラインに立つことができた。

【課題】

- ◆ 志教育を実践する上で最も大切なことは、継続である。志教育を一時的なものにして終わらせることなく、全ての学校が継続して計画的に志教育に取り組み、教職員全員が、毎年必ず何らかの形で志教育に関する実践を継続することが重要であり今後の課題である。